





一緒に参加してみませんか？

どなたでもお気軽に、いつからでもご参加いただける活動を紹介します♪

<p>明るく声かけ玉城の日 (あいさつ運動)</p>	<p>毎月第3火曜日</p> <p>町内各小学校 7:40～8:00 月に1回、少しの時間ですが、子どもたちと元気なあいさつを交わすことで、皆さんの元気がもらえる活動です。</p> <p>町内各保育所 8:30～9:00</p> <p>玉城中学校 7:50～8:10 ご参加いただける方は「あいさつ人」の登録をお願いします。</p> <p>田丸駅前 7:40～8:00</p>
<p>YouTubeチャンネル</p>	<p>元気ですたまき委員会、元気バス、デイサービス、生活支援コーディネーターなどの様子を Youtube で公開中！</p> <p>チャンネル登録お待ちしております。</p>  
<p>LINE公式アカウント</p>	<p>LINE公式アカウントを登録してあなたもたまき人になりませんか？</p> <p>最新イベント情報をお届けします♪</p>  

元気ですたまき委員 募集！

元気ですたまき委員会では、この計画に基づいて、玉城町をよりよくするにはどうするか、月に一度集まって話し合いを行っています。

たまき人の方大歓迎です！詳しくは下記までお問い合わせください。

玉城町のコミュニティウェルビーイングを実現しましょう！

元気ですたまき委員会は、玉城町のみんなの「ふくし」の実現を目指して、20年にわたりまちづくり活動を推進してきました。この「地域ふくし力向上計画」は、町民全員が互いに支え合い、誰も見過ごさない「地域共生社会」をつくることを目的としています。地域の暮らしを豊かにするためには、町民一人ひとりの主体的なふくし活動への参加が欠かせません。

本計画の実行を通して助け合いの輪を広げ、誰もが幸せを実感できる温かなまちづくり、すなわち「コミュニティウェルビーイング」をともに推進していきましょう。

玉城町地域福祉共育推進アドバイザー 田村禎章（東海学院大学 健康福祉学部）

発行元 **元気ですたまき委員会**（玉城町社会福祉協議会）

玉城町勝田 4876 番地 1 玉城町保健福祉会館内

連絡先 ☎ 0596-58-6915

メール tamasya@amigo2.ne.jp

ホームページ <http://www.tamasya.or.jp/>
右記二次元コードより読み取りください。



R7.6000



第4期

令和7年度～令和11年度

玉城町地域ふくし力向上計画

～笑顔広がる 人づくり 地域づくり つながりづくり の実現に向けて～

玉城町地域ふくし力向上計画は

玉城町をよりよくするための具体的な行動計画です！

この計画は玉城町社会福祉協議会に設置されている「元気ですたまき委員会」で、町内に住む方々の意見をもとに協議し、平成24年に第1期計画（3か年）が策定。さらに第2期、第3期計画を経て、令和7年度、第4期目を迎えます。

玉城町をよりよい町にするため、できることから一緒に活動していきませんか？



明るく声かけ玉城の日（あいさつ運動）



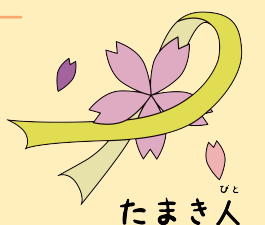
地域福祉座談会

元気ですたまき委員会は

玉城町社会福祉協議会では、誰もが安心してしあわせに暮らせるまちづくりを目指し、地域福祉活動を推進しています。その中で、地域の課題解決にむけて検討し、活動していこうと、ボランティアや各種団体、企業などの方々と立ち上げたのが「元気ですたまき委員会」です。平成20年に発足以来、「あいさつ運動」「地域福祉座談会」「元気ですたまきまつり」などの企画運営をはじめ、さまざまな取り組みをおこなう中で「たまき人」を募り、福祉力、地域力が強くなる社会を目指しています。

たまき人とは

玉城町に在住、在勤者で、玉城町に想いを寄せるすべての人を指します。このマークには、玉城を象徴する桜を人に見立て、一つのリボンでつながることをイメージしています。右記のシンボルマークは玉城中学校美術部の協力を得て作られました。



第4期 玉城町地域ふくし力向上計画 令和7年度～令和11年度

目 標	推進項目	実施計画	実施している事業 ◎主催 ○共催	年 次				
				令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年(具体的な到達目標)
地域の「コミュニケーションアップ」 「だれもがつながり支える玉城町を目指しましょう」	①あいさつで笑顔 広がる玉城町	子どもから大人まで、元気よくあいさつが行える取り組みを行う。	◎あいさつ運動 毎月第3火曜日 明るく声かけ玉城の日	明るく声かけ玉城の日の継続実施 活動の拡充検討 ・あいさつ人登録の周知 ・あいさつ名人の養成 ・場所の拡充検討	さまざまな行事の中であいさつ運動のうたを周知する	活動の拡充・検討 ・あいさつ人 (目標値：新規5名) ・あいさつ名人養成 ・場所の拡充 (目標値：新規1か所)	活動の見直し	評 価 ☆あいさつ人、場所を増加し、コミュニケーション力の向上
	②支え合い、 つながり合える 玉城町	たまき人の啓発を積極的に行うとともに、たまき人同士のつながりを深め地域力の向上を図る。	◎たまき人の啓発 (元気ですたまきまつり、商工会夏祭り、町民体育祭などのイベントでの啓発)	たまき人の啓発継続 ・元気でやさしいたまき人宣言 ・LINE 公式アカウントを活用したたまき人登録 ・元気ですたまき体操の周知 ・たまき人バンドの活動	たまき人の周知方法見直し たまき人がつながれる交流の場の検討	活動の拡充・検討 ・LINE 公式アカウント登録人数(目標値：新規30名)	活動の見直し	評 価 ☆たまき人の認知度が増加し、地域を想う気持ちを育むことができる ☆LINE 公式アカウント登録者目標 100名
		各種団体と連携し、地域での活動がより効果的に行えるようにする。	◎福祉の標語 募集 ○ふれあいウォーキング ○RUN 伴(認知症啓発)への参加	各種団体と協力し合い、玉城町の地域ふくし力向上を目指す	継続実施			評 価 ☆効率的な地域福祉活動・協力体制の構築
		多世代の交流や多様な活躍の機会と役割を生み出す。	◎楽笑会 (校区別におこなう世代間交流) ◎たまリンピック (障がいの有無を問わず、スポーツを通じて交流) ◎親子で昔遊び ○ライブスペース勢の! in たまき (全ての人を対象とし、音楽を楽しむ交流) ○親子交流機会の創出	(1) 学校や民生委員、各種団体と連携し、世代を超えて交流できる場を作る	継続実施		見直し	評 価 ☆独居になっても孤立することなく、つながりあい顔の見える地域
				(2) 障害の有無を問わず、つながりあえる場を作る	内容・周知方法の見直し	目標値： 前年度より、参加者・参加事業所の増加		評 価 ☆障害の有無を問わず、誰もがつながり支えあえる
				(3) 多世代が交流し、助けあえる環境づくりを行う		見直し		評 価 ☆年齢を問わず、誰もがつながり支えあえる
		出会いが少ない方へ働きかけ、交流しつながりができる活動を行う。	◎婚活事業 ◎友活事業(お友達づくり会)	ニーズを把握し、必要に応じて婚活、友活事業を計画し実施する	実施の検討 ニーズの把握	見直し		評 価 ☆出会いのきっかけ作りができる
ふくし教育のできるまち 「支え合う気持ちを育んでいきましょう」	①学び合い、 共有し合う 玉城町	ふくし共有活動を広く計画、実施し、継続的におこなうことで、子どもから大人まで、ふくしの心を育んでいく。	◎あつまれ たまき人 (たまき人交流の場) ・〇〇好き あつまれ!など ◎地域福祉座談会 (小学生と中学生と地域住民との対話と交流の場)	(1) 地域に対する意識の向上を目的にたまき人の交流の場を検討 (2) 世代の枠を超えて地域の課題などに気づき考え、その解決に向けて考える場を設ける (3) 福祉協力員の役割を見直す		活動の振り返り・検討・見直し		評 価 ☆世代の垣根なく交流する場を作り、ふくしの心を育む
		たまき人へ地域貢献活動を発信し、活動へのきっかけ作りを行うていく。	◎スキルシェア (自分の得意なことを教え合う) ◎玉城町社協 YouTube の活用 ○イベントボランティアの周知 (活動をしてみたいけど、一歩踏み出せていない人への地域貢献活動情報提供)	・YouTube を活用した事業周知 ・イベントボランティアの周知・募集 ・学び合える仕組みや事業の検討	継続実施 見直し 内容の検討			評 価 ☆地域の課題を我が事と捉えることができる人の増加
					民生委員との協力体制の検討・見直し、調整を行う		福祉協力員の役割の確立	評 価 ☆字区単位での見守り力の向上
	②気づきから、 行動できる玉城町	地域への困りごとを、地域住民が気づき、自分ごととして捉え、その解決に向けて行動できるようになる。	◎元気ですたまき委員会 ・ありがとう運動 (お互い様の関係づくり)	協力体制の構築		活動の見直し・課題整理	見直し	評 価 ☆困りごとは地区で力をあわせ、解決することができるようになる